

広島国際大学2019年度大学改革事業〔学長室企画課〕

【必要性・目的、実施計画等】

《必要性・目的》

2020年度に控える学部新設、改組、2キャンパス体制移行などの大規模な組織再編および「第2次広国教育スタンダード」教育科目の本格的な開始にあたり、万全な準備を行うとともに、教育改革を柱に、研究推進、地域連携・交流を推し進める。加えて、これらを実現させるためのキャンパス整備等を行い、ユニバーサルキャンパス*の実現を目指し、学部やキャンパスを越えた教育、研究の推進および地域連携・交流のさらなる促進を図る。

これらの施策を着実に実行することで、「地域の健康を守り、健康寿命を延伸する健康・医療・福祉分野の総合大学」として確固たる地位を確立するとともに、財政基盤の安定化のための土台を築き、「選ばれる」「魅力ある」オンリーワンの大学として持続的発展を目指す。

※ユニバーサルキャンパスとは

学生・教職員が、学部やキャンパスを越えた交流と連携を通して学び、成長できるキャンパス

大学と地域の多様な人々が、交流と連携を通してともに学ぶことができるキャンパス

《実施計画》

[1] 教育改革

地域の健康を守り、あらゆる人々のしあわせを支えるにふさわしい知識・能力・態度を持った人材を育成するため、新たな教育体系・教育体制である「第2次広国教育スタンダード」教育科目の本格的な開始の前に万全の準備を実施する。

- (1) 「学びの基礎固め」達成に向けた教育体系の整備および測定・検証
- (2) IPE(専門職連携教育)全学必修化について、教職員が全学的に対応するシステム構築
- (3) 入学前教育や社会人の学び直しに対応した教育プログラムの構築(長期履修制度等)および学びやすい環境の整備
- (4) 既存のICTコンテンツ・機器をさらに活用した授業の推奨
- (5) 正課外活動も含めた総合的なディプロマ・ポリシー達成度を計る学修評価システムの試行実施

[2] 研究推進

全学的な取り組みとして、「介護予防に焦点を当てた健康寿命延伸のための地域包括ケアシステムの展開」というテーマを掲げ、研究活動を推進する。

- (1) 地域包括ケアシステムにおける介護予防の領域に焦点を当て、健康・医療・福祉分野の横断的な研究を展開する。具体的には5年間を目途に東広島市との協力関係のもとに黒瀬地区を対象として、①地域の健康尺度の測定 ②主に介護予備群をターゲットとしたヒロコブランドの健康教室の展開 ③健康リテラシーの向上による健康寿命の延伸 ④地域へ開かれた大学として、健康環境基盤の提供 ⑤地域への健康活動を教材とした医療人としての人材育成 の5成果を目標に展開
- (2) 研究倫理教育の実践による公正な研究活動の推進

[3] 改組・再編

魅力ある学部・学科を設置し、学生を確保することによる財政基盤の安定化に向けて、「健康スポーツ学部」「健康科学部」等、改組・再編の実現に向けた準備を進める。

- (1) 改組・再編にかかる広報活動、学生募集活動の実施
 - ①「健康スポーツ学部」「健康科学部」のホームページ特設サイト等制作
 - ②開設記念イベント(講演会)等の計画
 - ③新学部・定員増学科の新聞告知の実施
 - ④高校訪問等の対面広報強化や地域住民等への広報施策の実施
- (2) 改組・再編に必要な教育研究施設・設備の整備
- (3) 2020年度改組計画に基づく関係機関への申請手続き及び対応

[4] ユニバーサルキャンパスの実現

学生・教職員だけでなく、多様な人々の交流・学びの場となるキャンパスの実現に向けた整備を進める。

- (1) 東広島キャンパス整備計画に基づく各種設計の遂行、整備工事の実施
- (2) 呉キャンパス整備計画に基づく各種設計の遂行、整備工事の実施
- (3) 多様な人々の交流・学びの場となるプログラムの実施

【具体的指標・効果(成果検証)】

[1] 教育改革

- (1) 「学びの基礎固め」達成に向けた教育体系の整備および測定・検証
 - ① 第2次広国教育スタンダード導入に向けた教育課程の策定
 - ② カリキュラム編成ガイドラインに基づく2020年度改組対象学部の授業科目概要の作成
- (2) IPE全学必修化について、教職員が全学的に対応する仕組みの構築(2020年3月まで)
2019年度IPE STEP3・4の選択必修化にかかる実施準備および改良
- (3) 入学前教育や社会人の学び直しに対応した教育プログラムの構築(長期履修制度等)および学びやすい環境の整備(2020年3月まで)
 - ① 入学前科目等履修等について規定改正

- ② 教育ネットワーク中国単位互換制度の運用開始
- ③ 長期履修制度等に対応するために必要事項の整備
- (4) 既存のICTコンテンツ・機器をさらに活用した授業の推奨
既存のICTコンテンツ(広国ドリル等)、講義録画システムなどをさらに有効活用し、学生が学びやすい授業を目指す。広国ドリルは入学前から入学後の初期教育での基礎学力固めの教材として全学部・学科での導入を行う。また、講義録画システムは現時点で学生の活用が未だ低い状況(利用率10%程度)となっている(2018年度学修行動調査調べ)。そのため、教員・学生両者に対する活用啓蒙活動を行い、更なる利用拡大(当面は利用率20%)を目指す。
- (5) 正課外活動も含めた総合的なディプロマ・ポリシー達成度を計る学修評価システムの試行実施(2019年12月まで)
総合的な学修評価をポートフォリオとして記録し、学生自らの成長を定量的に検証できる仕組みの運用

[2] 研究推進

- (1) 「介護予防に焦点を当てた健康寿命延伸のための地域包括ケアシステムの展開」を目的に、健康・医療・福祉分野について、以下のとおり全学部、学科で横断的に研究を行う。
 - ① 独自の健康指標の開発と調査実施
 - ② 健康相談業務の実施
 - ③ 地域の健康測定(体重、筋肉量、運動能力、骨密度、認知機能など)の実施
 - ④ 学内の健康スポーツ施設の地域への開放
 - ⑤ 地域住民を対象とした学内や集会所レベルでの健康イベントの開催
- (2) 学内における研究倫理教育の受講率100%および全受講者の理解度80%以上の達成

[3] 改組・再編

- (1) 改組・再編にかかる広報活動、学生募集活動の遅滞なき遂行と入学定員の充足
 - ① 「健康スポーツ学部」「健康科学部」のホームページ特設サイト等更新完了
 - ② 開設記念イベント(講演会)等の開催(2019年6月)
 - ③ 新学部・定員増学科の新開告知完了(認可後1ヶ月以内)
 - ④ 新学部・定員増学科の入学定員充足(2020年度確保目標数590人)
- (2) 改組・再編に必要な教育研究施設・設備の整備
 - ① 施設・・・「[4]ユニバーサルキャンパスの実現」に記載((1)東広島キャンパス①、②)
 - ② 設備・・・2020年3月までに整備を完了
- (3) 新学部等の設置届出申請等の完了および認可獲得
 - ① 保健医療学部救急救命学科設置届出書の作成(2019年4月提出)
 - ② 健康科学部医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科設置届出書の作成(2019年4月提出)
 - ③ 健康スポーツ学部の設置、収容定員増の認可申請への補正対応および認可の獲得

[4] ユニバーサルキャンパスの実現

- (1) 東広島キャンパス
 - ① 陸上競技場開設記念イベントの実施
 - ② 健康増進センター(仮称)の竣工(2020年2月)
 - ③ 野球場照明の設計諸条件の確定(2019年12月)と利用計画の策定(2020年2月)
- (2) 呉キャンパス
 - ① 教育会館(仮称)の外構整備(2019年12月)、渡り廊下設置(2020年3月)およびお披露目イベントの実施
 - ② キャンパス出入口新設工事の竣工(2020年3月)
 - ③ バラ園の開園式および植栽会の実施(2019年4月)
- (3) 「広国市民大学(仮称)」のプログラム検証を2019年12月までに実施し、次年度のプログラム案を策定後、2020年1月より新たに募集を行う。